リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 レポート

RELAY FOR LIFE® JAPAN CANCER SOCIETY

主催

公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ・ジャパン実行委員会

2024年度のリレー・フォー・ライフ活動を終えて

がん患者とそのご家族を支援し、地域社会全体でがん征圧を目指し、年間を通じて行われるチャリティ活動のリレー・フォー・ライフ（以下RFL）。
がんとともに様々な痛みや不安と向き合い続けるサバイバー（がん経験者）さんやご家族、大切な人をがんで失ったご遺族の心の辛さは計り知れません。しかし少しでも、その辛さを理解しようと思うこと、そして「ひとりじゃない」と思えた時に人はふと勇気や温かみを感じることが出来るように思います。

RFLはサバイバーさん、ケアギバーと呼ばれるご家族、ご遺族、そして支援者のみなさんが「希望（HOPE）」をもつ仲間とつながり、ストーリーを共有し、「変えたい」気持ちを共有する場所でもあります。今年は北海道から沖縄まで全国48会場でHOPEの灯がともり、参加されたみなさんが大切な人と集い、語り合い、再び会える喜びを噛みしめました。

この冊子は2024年活動された各地の実行委員会による活動報告とRFLへの想いをまとめたものです。ぜひ、すべての実行委員会の投稿にお目通しいただき、RFLの魅力や地域の絆、そして「ひとりじゃない」ことを感じていただければ幸いです。

コロナ禍で生まれたセルフウォークリレー（SWR）はリレーイベントに参加したくてもできない方々が全国どこからでも歩くことで参加できる新たな支援活動となり5年目を迎えました。計44団体が独自のイベントを立ち上げ、全国で5,172人ががん患者支援を胸に歩き、その歩みは7億8,651万歩以上にのぼりました。

がんになっても安心して暮らせる社会に、安心して治療できる社会の一日も早い実現のために、たくさんの方にRFLへ足をお運びいただきご参加いただければ幸いです。

最後になりましたが、活動を牽引してくださっているボランティアの実行委員会および関係者の皆様、変わらぬご支援をいただいているナショナルスポンサー様をはじめとする企業・団体様、RFLに参加し歩き、ご寄付いただきましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。25年度も引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ
チーム一同

是澤聡子	（RFLマネジャー）
阿蘇敏之	（RFLアシスタントマネジャー）
松島順子	（RFL担当）
郷州葉子	（RFL担当）
渡邉絢夏	（RFL担当）
堀切園恵美	（RFL担当）
平野登志雄	（スタッフパートナー）
時森由佳	（スタッフパートナー）

リレー・フォー・ライフとは

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、
がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティ活動です。

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界36か国で活動、約1,800か所で開催され、年間寄付は約146億円にのぼります。

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとしてウォークイベントが開催されます。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、がん征圧を願い歩きます。

RELAY FOR LIFEの使命と3つのテーマ

Save Lives

セーブライブズ

祝う　Celebrate
がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

しのぶ　Remember
がんで旅立った愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬います。

立ち向かう　Fight Back
がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくります。

3つのテーマに支えられ、使命であるSave Livesが成り立っています

ロゴについて

RELAY FOR LIFE®
JAPAN CANCER SOCIETY

リレー・フォー・ライフのロゴは、太陽と月と星をかたどった世界共通のものです。

それは昼夜を問わず、がんという病に立ち向かう世界中の数えきれない人々の勇気とリレー参加者への絶え間ないサポートを象徴しています。いつの日かがんで悩むことのない社会が訪れるという希望の星をかかげ、輝く太陽の下、降りそそぐ月の光の中で参加者が一丸となって共に病に立ち向かう。

リレー・フォー・ライフのロゴには、そんな思いが込められています。

皆様からのご寄付

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、公益財団法人 日本対がん協会を通じて、下記のような支援に充てられています。

がん患者支援 ∞ がん征圧

▶ リレーイベント

年間活動の締めくくりです。チームの仲間と会場でタスキをつなぎ歩いたり、キャンドルライトセレモニー「ルミナリエ」をおこないます。

▶ がんの悩み相談

看護師・社会福祉士などによる電話相談を実施しています。患者さんだけでなくご家族やご友人、がんに関する心配や不安がある方なら、どなたでも無料でご利用いただけます。

がん相談ホットライン

☎ 03-3541-7830 予約不要

毎日（年末年始を除く）10～13時、15～18時

※受付日時は変更になる場合があります。
日本対がん協会ホームページでご確認ください。

▶ プロジェクト未来

がんの新しい治療法や新薬開発、患者のQOL改善に向けた研究に寄付金が活用されています。2024年度は23名の研究者に助成金が贈られました。

▶ がん検診受診率アップ

写真提供：千葉県支部
（公益財団法人 ちば県民保健予防財団）

ポスターやパンフレットを制作・活用し受診を呼びかけます。支部と連動したリレー会場における検診車の手配や、セミナーなどの啓発活動もおこなっています。

▶ 若手医師育成

がん医療を深く学びたい若手医師育成のため、海外留学研修費用の一部を助成する取り組みです。米国の研究施設での研修が、日本のがん医療発展につながることを期待して設立されました。2023年度の奨励賞受賞者は2名で、西井先生は2024年10月からMDアンダーソンがんセンター、松井先生は同11月からシカゴ大学医学部にて1年間の予定で研修を受けられています。

松井 悠さん

西井 和也さん

Relay For Life Japan
2024 Report

キックオフミーティング 2024年2月24日 於 国立がん研究センター 大会議室

相談支援室・マネジャー北見知美氏による報告

2024グローバル・ヒーローズ・オブ・ホープの久保田鈴美さんと一男さん、北條千秋さん、三室さつきさん（左から）

プロジェクト未来研究助成受賞者の今野先生（左）と海外奨学医の宇田川先生

コロナ禍を経て4年ぶりに全国の仲間たちと記念撮影

RFLグッズ 新デザインのご紹介

2024年度はバンダナ、マフラータオル、リストバンドの3アイテムで新しいデザインのグッズを製作しました。

中でもデザインを公募したバンダナは、おきなわ実行委員会のまじま なおこさんのデザインを採用させていただきました。RFLで出会ったサバイバーの方たちの笑顔に刺激を受け、治療に取り組む気持ち、生き方が前向きに変わったというまじまさんの思いが詰まっています。

まじまさん「円の広がりには、人のつながりの輪、優しさの一雫が誰かの大きな力になるというイメージ、また若葉には新しい出会いとリレー・フォー・ライフの思いが木のように育って、広がってほしい、という気持ちを込めています。リレーに来て渡された時に、楽しい気持ちになるようにデザインしました」

RFLセルフウォークリレー2024

がんサバイバー支援を胸に5,172人が参加、7億8,651万歩を歩む

参加者が好きな時に好きな場所で歩いた歩数をスマホアプリに記録。参加費と歩数に応じた金額が寄付されるオンラインチャリティイベントです。RFLの在り方もコロナ禍で変わり、リレーイベントに参加したくてもできない方々が全国どこからでも歩くことで参加できる新たな支援活動となりました。

今年は5年目、協会本部と28実行委員会は5月から11月までの実施、15企業は6月から2025年1月までの実施でした。期間は1日から1か月と様々ですが、最多の557名参加の企業もありました。合計5,172人（昨年は4,996人）が歩き、その歩みは7億8,651万歩にのぼりました。セルフウォークリレーの模様は、各団体のホームページやSNSで配信されました。

上記44イベントの寄付は755万円。それに特別協賛14企業のマッチング寄付合計755万円を合わせた計1,510万円が今年のチャリティセルフウォークリレーの結果でした。お預かりしたご寄付は、日本対がん協会が運営している「がん相談ホットライン」の相談3,775件の運営に充てられます。ありがとうございました。

今後もRFL活動のひとつとして継続してまいりますのでよろしくお願いいたします。

取り組み

	企業チーム名	SWR実施日時	歩数	参加者数	寄付金（円）
1	アステラス	6/1〜6/30	6,421,592	61	61,000
2	メルク	9/17〜10/14	30,098,332	193	400,000
3	MDRT中四国ジブラルタブロック	9/28〜10/28	30,338,104	232	294,000
4	JAIFAソニー東京	9/28〜10/28	13,377,379	74	82,000
5	アイバイオテック	10/1〜31	7,363,408	33	100,000
6	シスメックス	10/1〜31	20,217,239	108	151,000
7	第一三共グループ	10/1〜31	111,040,180	557	2,185,000
8	ベックマン・コールター	10/1〜31	17,947,737	88	147,000
9	アッヴィ	10/12〜14	10,042,607	497	500,000
10	ブラザー	10/20〜11/20	65,594,680	382	309,000
11	エーザイつくば	11/1〜30	17,742,221	92	87,000
12	明治安田生命 大阪第五M	11/1〜30	11,105,600	49	37,000
13	テルモ	11/1〜12/1	29,229,918	182	487,000
14	Trans Perfect Japan	11/9	1,314,000	85	220,000
15	熊谷組	12/23〜1/22	51,902,136	291	310,000
	合計		423,735,133	2,924	5,370,000

	実行委員会名	SWR実施日時	歩数	参加者数	寄付金（円）
1	三重	5/1〜31	7,750,595	44	20,000
2	きたかみ	6/8〜7/7	12,248,378	79	113,000
3	神戸	6/8〜7/7	6,177,464	36	23,000
4	とまこまい	7/20〜8/19	26,800,828	219	230,000
5	甲府	8/1〜31	9,084,960	56	60,000
6	にいがた	8/17〜9/16	12,178,703	81	96,000
7	室蘭	8/24〜10/7	10,586,493	47	33,000
8	青森	8/26〜10/9	11,174,632	50	53,000
9	かがわ高松	8/31〜9/29	12,990,456	90	90,000
10	福島	8/31〜9/30	4,508,914	27	24,000
11	いわて	9/1〜30	5,424,476	35	33,000
12	東三河	9/6〜10/20	20,189,478	83	88,000
13	信州まつもと	9/7〜10/21	8,646,526	60	42,000
14	滋賀医科大学	9/13〜10/20	29,790,877	142	182,000
15	大分	9/14〜10/21	27,751,442	145	238,000
16	あきた	9/21〜10/20	6,145,647	38	25,000
17	京都	9/22〜10/22	11,254,745	65	48,000
18	川越	9/28〜10/28	20,951,127	133	55,000
19	さいたま	9/28〜10/28	31,428,496	165	149,000
20	御茶ノ水	10/1〜31	6,776,535	38	26,000
21	岐阜	10/1〜31	5,235,776	29	21,000
22	高知	10/1〜31	8,307,646	49	43,000
23	泉州	10/1〜31	2,894,512	19	7,000
24	ふくい	10/1〜31	5,465,427	50	37,000
25	信州長野	10/7〜11/6	7,975,145	58	71,000
26	おきなわ	10/11〜11/10	20,189,310	191	105,000
27	中津	10/12〜11/11	5,894,371	42	57,000
28	静岡	11/1〜30	10,403,523	75	76,000
	合計		348,226,482	2,146	2,045,000

	日本対がん協会（全国だれでも）	11/1〜30	14,553,430	102	139,000

取り組み

北海道 室蘭市

室蘭実行委員会

初めての1日開催!

実行委員長
中田 美樹

今年で17回目を迎えたRFLJ2024室蘭は、8月24日（土）1日だけの開催でした。昨年の猛暑による各イベントの中止・延期もあり、来場される皆さんが負担なく過ごせるようにと考えての開催でした。

開会式前にYOSAKOIの歓迎演舞、今年もキッチンカーに多数出店して頂き、子供たちが楽しめる縁日コーナーも賑わっていました。ステージでは、室蘭在住のシンガーソングライターKENTOさんに出演頂き、作曲頂いたRFLJ室蘭のテーマソングをライブの中で披露、室蘭マリン少年少女合唱団、音楽療法士の四方明子先生とチェリスト藤田雅裕さんのセッションなどで会場を盛り上げてくれました。

また、テントブースでは、日本対がん協会アシスタントマネジャー阿蘇さんとがん専門薬剤師による相談コーナーを設置。がんや化学療法についてサバイバー、ケアギバーがゆっくりと時間をかけて相談している姿も印象深く残りました。

夕方、夕陽で会場がオレンジ色に染まる中、参加された皆さんにお手伝い頂き、ルミナリエ点灯。広い会場がろうそくの灯りに包まれた瞬間、幻想的な美しさを醸し出すのがRFLJ室蘭の魅力の1つでもあります。

最後に毎年ご支援・ご協賛、参加して下さるチームとボランティアの皆さんのご理解とご協力に実行委員一同、心より感謝申し上げます。

また来年、室蘭の会場で皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

開催日	8月24日
開催地	カナスチールみたら室蘭 横
SWR	8月24日～10月7日

総参加者数	800人
チーム	19チーム
サバイバー	20人
総収入	1,827,249円
実行経費	1,211,250円
寄付総額	615,999円

北海道 苫小牧市

とまこまい実行委員会

新企画を充実～10年目を迎える 来年の新たなステージに向けて～

実行委員
高橋 達也

会場を苫小牧市内中心部の公園「出光カルチャーパーク」に移して3回目となる今年の大会は2019年以来5年振りの2日間開催でした。夜越えの開催はできませんでしたが、両日とも好天に恵まれ多くの方々にご来場頂きました。会場には市のゆるキャラ「とまチョップ」や「ドンペン」も応援に駆けつけ、子供たちに大人気でした。セミナー等を充実させた今年は「2day セミナー」と題し2度のセミナーを実施しました。また大会の1週間前にはプレイベントとして原千晶さんを講師に招いて「がんセミナー」を開催、220名を超える多くの方々にご来場頂きました。原さんの心のこもったお話には涙を浮かべながら聴き入る方も多く、とても有意義なセミナーとなりました。サバイバーズサロン「しゃべるべや（部屋）」や「親子deがん教室」の新しい企画も実施、これまでとは一味違った大会でした。2日目には、垣添会長も来訪され「がんセミナー」や「みんなで垣添先生としゃべるべや」でお話をして頂きました。昨年開局した市民のコミュニティー放送局「FMとまこまい」が会場で2時間のライブ放送を実施、大会の様子を発信してくれました。今年も多くのボランティア、協賛企業、そして地域の皆さんのご支援を頂き、無事に大会の幕を閉じることができました。ありがとうございます。来年は10年目を迎える節目の年です。また新たなチャレンジをして、みなさんとお会いしたいと思います。

開催日	7月20日、7月21日
開催地	出光カルチャーパーク
SWR	7月20日～8月19日

総参加者数	2,050人
チーム	29チーム
サバイバー	64人
総収入	2,191,989円
実行経費	1,171,989円
寄付総額	1,020,000円

Relay For Life Japan
2024 Report

青森県 八戸市

八戸実行委員会

リレー・フォー・ライフは、歩みを止めない!!!!

実行委員長
小渡 章好

前面ガラス張りの建物から優しい光が差し込み、ドアを開け放てば風が吹き抜け、水をテーマにした水の樹のオブジェに子供たちがはしゃぐ。八戸のイベントの顔、マチニワ。ここでRFLJ八戸は開催。今年で9回目。毎回地元紙に大きく掲載され、サバイバーさん、ケアギバーさん、多くの市民の皆様から温かい言葉、ご期待の声を頂き、気持ちは昂る。

当日はお昼から20時までの開催。オープニングは元気いっぱいな子供たちが披露する、よさこい。がん相談室からのお声を伝えて頂いた、対がん協会の北見様のお話。講演後、感銘をうけた市民の方が駆け寄って、さらにお話を聞いていた姿が印象に残ります。そして、2年間待ち続けた青森労災病院のM先生のお話。大変分かりやすく、とても穏やかで、その人柄に大きな安心感を得られます。サバイバーズトークは支えてくれた方に恩返しがしたい!とフルマラソンを走る、とても元気なサバイバーさん。そして、がんに寄り添う姿や思いを表現してくださるような、包み込む舞をみせるハワイアンのフラ。力強い歌声で会場を一つにするゴスペル。そして、セレモニーへ。今年も支えてくださった看護学生、高校生ボランティアの皆さん、市民活動サークルの皆さん、この運動に携わって頂いた全ての皆様に、感謝。このマチニワの光のように誰にも優しく、くよくよせず風のように颯爽と、生命力と元気を与え続ける水のような存在を、私たちは目指したい!

開催日	6月15日
開催地	八戸まちなか広場マチニワ
SWR	ー

総参加者数	570人
チーム	17チーム
サバイバー	75人
総収入	1,284,268円
実行経費	749,698円
寄付総額	534,570円

青森県 青森市

青森実行委員会

つなぐ命のバトン

副実行委員長
碓井 修二

RFLJ青森は、実行委員会発足から満10年を迎えました。今年の開催は5月29日に突然天国へ旅立たれた、10年間副実行委員長として尽力したひとりの女性への追悼の気持ちを込めて始まりました。青森実行委員会も「TEAMあおもり」として、彼女の思いを胸に、リレーウォークを襷でつなぐことができました。

当日は台風の影響もあり、開会セレモニーの書道パフォーマンスで「希望」の二文字を体育館で披露し開会となりましたが、参加者一人ひとりの願いが届き、夕方には雨も上がり、綺麗な虹の架け橋が八甲田連峰の上空に架かりました。サバイバーズトークやエンプティテーブル、ファイナルラップはグラウンドで開催でき、全国各地からのリレーヤーの参加も多数あり、再会を喜び合い、リレー談義に花を咲かせることができました。また今回は、青森県立中央病院の「青森けんみん公開講座」とのコラボもあり、地域全体でがんと向き合うきっかけにもなりました。

1年を通じてチャリティー活動を行いながら、全国のリレーヤーともつながり、青森に桜梅桃李の花を咲かせられるよう、2025年も取り組んでいきます。

最後に、開催にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

開催日	8月31日～9月1日
開催地	青森県立保健大学
SWR	8月26日～10月9日

総参加者数	360人
チーム	12チーム
サバイバー	60人
総収入	998,542円
実行経費	604,131円
寄付総額	394,411円

岩手県 一関市

いわて実行委員会

13年目を終えて ～ひとりじゃない～

実行委員
小野寺 薫

9月7日、8日の2日間、参加いただいた皆様、寄付等でご協力いただいた皆様、ありがとうございました。開催にあたり「会場は中?外?」「時間帯は?」「出演や出店は?」等など課題がたくさんあり、よりいい時間を、そして「無理なく続けていくことの大変さ」をあらためて感じました。

また、サバイバーになってから地元で開催していることに気づいたRFLですが、まだまだ知らない方が多く、どう知ってもらうか、必要な人にどうしたら届くのか、どうしたら一緒に活動する人が増えるのか…。今年はサミット&キックオフにも参加させていただき、みんな同じ悩みを抱えながらも「RFLを続けていきたい!」という思いで活動しているのだと実感しました。

今年の開催は未だ感染症の影響は続いていましたが、少しずつ「はじめまして」の方も増えたようです。また、企業から啓発冊子を送っていただいたり、子どもホスピス設置のために活動している団体に参加していただき、がんは大人だけではないことを周知できたり、ボランティアの学生たちに子宮頸がんの啓発ができたり、新しい気づきやつながりもできました。今後の課題はサバイバーやケアギバーが「来てよかった。また来たいな」と思える場を作ること。今年はその点で課題が残りました。来年は築いてきたご縁を大切にしながら、より「ひとりじゃない」を届けていければと思います。

開催日	9月7日、9月8日
開催地	一関ヒロセユードーム
SWR	9月1日～9月30日

総参加者数	269人
チーム	13チーム
サバイバー	14人
総収入	1,129,942円
実行経費	140,803円
寄付総額	989,139円

岩手県 北上市

きたかみ実行委員会

～がんになっても住みよい街を目指して～

実行委員長
髙橋 寛美

RFLJ2024きたかみリレーイベントを新緑が香る「みちのく民俗村」にて無事開催することができ、また昨年の参加人数を超える多くの皆さんにご参加いただき誠にありがとうございました。

このリレーイベントを開催するにあたり、北上市、北上医師会、北上歯科医師会、北上薬剤師会の共催、市内外の企業、団体個人等多くの皆様のご理解とご協力があり、募金、協賛を頂きましたこと感謝申し上げます。

今年は2019年の開催以来5年ぶりに体験型ワークショップも開催し、リンパマッサージやアロマセラピー、福祉ネイルなど参加された皆様の癒しにもなったようでした。

ステージイベントも多彩な内容となり、特に今年の医療対談は家族の支えに焦点を当てた内容でした。北上市のがん対策の取り組みについてもお話しいただき、先進的な取り組みが市民の皆さんに少しでも届いたのではないかと思っております。

今後も私たち実行委員は、「がんになっても住みよい街を目指して」をテーマに掲げ「何のために誰のために」を忘れず、年間を通して活動して参ります。

開催日	6月8日
開催地	みちのく民俗村
SWR	6月8日～7月7日

総参加者数	330人
チーム	18チーム
サバイバー	36人
総収入	1,219,318円
実行経費	398,742円
寄付総額	820,576円

宮城県 仙台市

みやぎ実行委員会

5年ぶりに夜越え開催が叶いました!

副実行委員長
吉田 久美子

2024年RFLJみやぎは、昨年からの課題であった夜越え開催が5年ぶりに叶いました。夕方からは天候が崩れ心配しましたが、雨にも負けず風にも負けずの思い出深い24時間となりました。

県民の皆さん、がんサバイバーの皆さん、ケアギバーの皆さん、ボランティアや出演者の皆さん、参加されたすべての仲間の皆さん、当日の参加が叶わなかった皆さん、本当にありがとうございました。

昨年は東北地域フォーラムと開催日が重なり、参加が叶わなかった県内のがん相談支援センターの皆さんや、他県のRFLJの仲間の皆さんが参加して下さったこと、何より今年から宮城県共催となったことで広報・活動・支援の場が大きく広がりました。また医学部の学生さんが実行委員会に加わり、若い世代にも広がりが見えてきました。新しい実行委員や大勢の学生ボランティアの方々がルミナリエの設置などで活躍してくれました。この活動がもっともっと広がり「がんになっても、自分らしく生きられるみやぎ」に向かっていけたらと願います。

来年2025年のRFLJみやぎは9月27日(土曜日)、28日(日曜日)、会場は今年と同じく仙臺緑彩館に決定しました。開催16回目を終えて、実行委員一同また新たな一歩へと来年に向ける夢が膨らんでいます。

引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

開催日	10月19日～10月20日
開催地	青葉山公園 仙臺緑彩館
SWR	ー

総参加者数	600人
チーム	26チーム
サバイバー	28人
総収入	1,525,550円
実行経費	1,003,113円
寄付総額	522,437円

秋田県 秋田市

あきた実行委員会

温かく寄り添ったリレーフォーライフ

実行委員長
守田 亮

これまで晴天の中で開催されていた秋田のリレーは、今年初めて雨天の中での開催となりました。実行委員で話し合いを重ね、苦渋の決断でしたが、屋内開催に切り替えさせていただき、日本対がん協会秋田県支部である秋田県総合保健事業団の皆様のご尽力で、同保健センターの大会議室や廊下を利用しての開催となりました。

悪天候の中、秋田県内外から多くの方々にご参加いただきました。実行委員全員が肌で感じていたのが、地域全体でがん患者さんを支えていこうとする変化でした。そして新しいつながりも生まれ、学生を含む多くのボランティアの方々に協力していただきました。少しずつ、秋田全体が変わりつつあります。

今後も温かく寄り添ったリレーを開催し続けていきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

開催日	9月21日
開催地	秋田県総合保健事業団
SWR	9月21日～10月20日

総参加者数	250人
チーム	14チーム
サバイバー	50人
総収入	562,681円
実行経費	288,317円
寄付総額	274,364円

福島県 福島市

福島実行委員会

2024年リレー・フォー・ライフ・ジャパン 福島を振り返って

実行委員
安藤 由美子

台風10号の影響で開催が心配されていましたが、当日の開始時間には晴天となり『あづま総合体育館メインアリーナ』で2日間、開催されました。

2010年第1回目からのフラッグとTシャツの展示、ルミナリエで作る『HOPE』の文字、手作りの風船アーチなど実行委員の皆さんとボランティアの皆さんが汗だくになりながら会場設営がはじまりました。今年はグッズ販売を担当させていただきましたが、『グッズが毎年楽しみ』と嬉しい言葉をいただき、沢山の方にグッズをお買い上げ頂きました。

ありがとうございました。

皆さんの笑顔と大きな拍手でのサバイバーズラップがとても感動的で、会場が一体となりスタートしました。サイレントウォークでは、ルミナリエに書かれた一つ一つのメッセージが照らされ、心静かに大切な人を思う時間となりました。私自身も昨年亡くなった父を思い一人涙してしまいましたが、この時間がとても心落ち着きました。

参加された皆さんの笑顔、ビートマック・スペシャルのみなさんの素敵な音楽、ピッピさんの優しい笑顔、あわまんじゅうまんさんの優しい人柄にとても癒された2日間でした。RFLJ福島は、毎年私に大きな気づきを与えてくれます。本当にありがとうございます。

来年も皆さんにお会いできることを今から楽しみにしています。

開催日	8月31日～9月1日
開催地	あづま運動公園中央広場
SWR	8月31日～9月30日

総参加者数	1,200人
チーム	29チーム
サバイバー	200人
総収入	2,881,244円
実行経費	2,144,865円
寄付総額	736,379円

栃木県 壬生町

とちぎ実行委員会

想いを伝え、つないでいきたい

実行委員
宇佐美 朱美

今年で12回目となるRFLJとちぎは、9/14～15に開催されました。9月とはいえ、今年も両日ともに猛暑の中、参加者の体調を気遣いながらの開催となりました。参加者の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

今年は、「治療と仕事の両立支援」など3つの講話が行われ、夕刻にはピアノの弾き語りがあり、夜にはルミナリエが美しく灯る中、サックスバンドの演奏が会場に響き渡りました。コロナ禍以降、夜通しウォークをするチームは少なくなってしまいましたが、それでも24時間参加してくださるチームは多く、以前のようにまた24時間開催ができた喜びを感じました。そして、サバイバーやご家族が笑顔で参加されているのを見て、開催の必要性もまた強く感じました。

私は医療従事者を養成する学校の教員です。毎年、学生ボランティアを募っています。学生たちはRFLに参加することで、サバイバーや周囲の方々の思いを知り、一生懸命な実行委員やチームの皆さんを見て、「何かのために一生懸命になるということ」、「誰かの支えになれるかもしれないこと」を学んでいるように感じています。そして、そうした思いがリレーをつないでいくのかもしれません。

がん制圧を願い共通の想いを持って参加することで笑顔が生まれ、ともに支え合う社会が育まれていくことを切に願っています。

開催日	9月14日～9月15日
開催地	壬生町総合公園陸上競技場
SWR	ー

総参加者数	3,247人
チーム	43チーム
サバイバー	220人
総収入	4,373,645円
実行経費	3,546,849円
寄付総額	826,796円

群馬県 前橋市

ぐんま実行委員会

新しいリレーのスタート

副実行委員長
狩野 太郎

コロナ禍が明け、夜越えを再開して2年目、初開催から12回目となる今年のぐんま大会には、県内外から73チーム、5千人の皆さまにご参加頂きました。

当日は好天に恵まれ、第1回大会から恒例となっているG-Fiveのがん予防啓発アクションショー、チャリティーくじ、JAの野菜販売、歌や演奏の披露など、楽しい2日間となりました。今年は約10年ぶりに、医師による啓発セミナーを開催したところ、サバイバーをはじめ沢山の方にご参加頂き好評でした。ぐんま大会には多くの医療機関チームが参加しているため、次年度以降はリレー方式で啓発セミナーを継続したいと考えています。

2日目は、昨年に続き未就学児や小中高校生のバトンチームの皆さんが素晴らしいショーを披露してくれました。バトンショーには沢山のお母さん達が応援に来ていましたが、終演の挨拶では指導の先生が、がん予防や検診の重要性に触れ、お母さん達にがん検診を促して下さいました。これからも毎年バトンショーをお願いすることで、新しいお子さんや親御さんがリレー方式で参加し、がん予防や、がん検診に向けて行動する人が少しずつ増えてゆきそうです。

最後になりますが、年間を通してリレーのPRや開催準備をしていただいている事務局の群馬県健康づくり財団の皆さん、協賛企業、ボランティアの皆さんをはじめ、応援して下さったすべての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。

開催日	10月12日～10月13日
開催地	県総合スポーツセンター
SWR	ー

総参加者数	5,084人
チーム	73チーム
サバイバー	180人
総収入	6,876,373円
実行経費	4,967,372円
寄付総額	1,909,001円

埼玉県 さいたま市

さいたま実行委員会

リレーの原点にかえったような

事務局長
田端 良吉

16年目の活動を継続するさいたまのイベントは5年ぶりとなる夜越えで、18時間開催と時間縮小ながら、雨天の予報も吹き飛ばす晴れ人パワーで盛会のうちに終了しました。大会長を16年勤めてくださる清水市長をはじめ、十数か所に及ぶさいたま市役所の協力部署、会場となる緑の広場、休業して建物施設や駐車場を無償で開放してくださる関係各所のご理解とご協力のお陰で、寄付率約5割を達成しているのもさいたまの特色です。参加者に水を提供頂いた水道局と協賛企業のお陰で、熱中症や体調不良者を出すことなく運営できたことも感謝です。

リレーウォークでは約250mに及ぶコースを、途切れることなく歩くサバイバーと35チームの参加者の姿は感動でした。実行委員による献身的な準備、4つの啓発講演を引き受けてくださった医療関係者のご協力、チームの皆さんと応援に来てくださった友人知人やご家族の皆さん、全国10か所に及ぶ実行委員会から駆けつけてくれた仲間とここに集う多くの人が再会を喜び、交流することができました。多くの皆様に支えられ、チームの仲間とタスキを繋ぎ、夜を越えて朝を迎えたとき、リレーの原点にかえった思いがしました。こんな素敵なリレーを実現できたことを心より感謝いたします。これからも「迷わせない・困らせない・ひとりにさせない」をスローガンに「One Teamさいたま」を継続していきますので、どうぞよろしくお願いします。

開催日	9月28日～9月29日
開催地	さいたま市緑区 緑の広場
SWR	9月28日～10月28日

総参加者数	1,100人
チーム	35チーム
サバイバー	68人
総収入	3,646,369円
実行経費	1,848,267円
寄付総額	1,798,102円

埼玉県 川越市

川越実行委員会

地域の絆でがん支援を広げよう

実行委員長
野口 悟

16年目を迎えた川越のリレーは5年ぶりに夜越えを実施し、今年も街なかで開催されました。23チーム448名の参加者のうち、57名がサバイバーの皆様です。多くのサバイバーの皆様にお越し頂き嬉しい限りです。

今年も川越の11商店街の協力を頂き「川越紫化計画」を実施し、街全体を紫色に染め、がんへの理解と支援の輪を広げました。新たな協力店舗も増え、紫色が濃くなっています。地域の皆様の温かい協力に心より感謝申し上げます。

また、セルフウォークリレーには133名が参加し、目標の2000万歩を見事に達成しました。皆様の心のこもった一歩一歩に感謝致します。

そして、昨年に引き続き、無料着物レンタルやストリートピアノ、チームの皆様による啓発・募金活動など、皆様の支援で多くの活動が実施されました。

さらに、「プロジェクト未来」で研究助成を頂いた、埼玉医科大学総合医療センターの小野さんに、啓発テントで研究のご報告をして頂きました。皆様からの寄付がどのように役立っているのかを知って頂くことが出来ました。小野さんは学生時代に川越のリレーに参加されており、長く続けていくことの大切さ、効果を実感しました。

改めて、すべての参加者・スタッフの皆様に感謝を申し上げ、来年もまたお会いできることを楽しみにしています。

開催日	9月28日～9月29日
開催地	蓮馨寺
SWR	9月28日～10月28日

総参加者数	448人
チーム	26チーム
サバイバー	57人
総収入	1,626,760円
実行経費	710,395円
寄付総額	916,365円

埼玉県 所沢市

ところざわ実行委員会

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024 ところざわ活動報告

実行委員長
角田 潤弥

「RFLJところざわ」は、皆様からの温かいご支援・ご協力をいただき、第4回を開催することが出来ました。協賛いただきました企業・団体のみなさま、当日の運営にご協力いただいたみなさま、実行委員のみなさま、心より感謝申し上げます。当日は、約250名（内サバイバー50名）、12チームのみなさまにご参加いただきました。今回は例年の催し物に加え、埼玉西部消防組合　消防音楽隊様による演奏やサバイバーズトーク、キッチンカー、有志による夜越えウォークを実施することが出来ました。一部、スムーズに運営できなかった部分もありましたが、次回開催につなげていきたいと考えております。

私たちは、「がん征圧」という言葉をかかげております。がん征圧とは、がんが風邪のように薬を飲めば治る。そんな世の中を夢見ています。そのために、このチャリティーイベントで寄付金を集め、研究やがん医療の充実の後押しをできればと思っております。

RFLJところざわのテーマは、がんを一人で悩んでいる方に、同じ経験をしてきた仲間との出逢いにより、希望を感じてもらい、笑顔になっていただきたいとの願いが込められています。ひとりでも多くの方にこの活動を届けられる様、実行委員・関係者全員で頑張ってまいります。

開催日	5月25日
開催地	所沢航空記念公園
SWR	ー

総参加者数	250人
チーム	12チーム
サバイバー	50人
総収入	917,010円
実行経費	614,010円
寄付総額	303,000円

Relay For Life Japan
2024 Report

千葉県 柏市

ちば実行委員会

会場周辺を練り歩いてRFLJをアピール

チーム・渉外担当
坂野 康郎

RFLJちばは2010年から7年間、八千代市や千葉市で開催しましたが、いったん中断。2021年に柏市で再開し、今年は再開4年目になりました。夜越えせず半日開催です。それでも大勢のがんサバイバー・ケアギバーに来ていただき、大変にぎやかなリレーイベントになりました。

会場は柏の葉公園コミュニティ体育館で、すぐ近くにある国立がん研究センター東病院が初めてチーム参加したほか、東京歯科大学、福祉Nailサンベリーナが初参加しました。県外からはRFLJ静岡、RFLJ信州長野もチーム参加して、参加チームは計19になりました。イベントでは医師の講演、ライブ公演、サバイバーズトークなどで、がん患者さんたちを励ましました。

室内開催では屋外を通る人にアピールできないため、体育館の正面玄関わきに受付やチームのテントを出してPRしました。さらに参加者全員が屋外に出て、チームの横断幕を掲げながら公園内を20～30分練り歩く試みを初めて実施したところ、参加者からは「大変気持ちがいい」と好評でした。終了後の後片付けでは中学生のボランティアも加わりました。中学生たちは「来年も手伝います」と言っています。頼もしい助っ人に感謝しています。

2025年も大勢の参加をお待ちしています。

「ひとりじゃないよ、ともに歩もう!」

開催日	10月26日
開催地	柏の葉コミュニティ体育館
SWR	ー

総参加者数	276人
チーム	19チーム
サバイバー	60人
総収入	575,974円
実行経費	159,974円
寄付総額	416,000円

東京都 台東区

東京中央実行委員会

サバイバーと共に学ぶ ～聴き、そして語り…

事務局長
松原 幹夫

「RFLJ2024東京上野」は東京都保健医療局技監の成田友代様、台東区長の服部征夫様のご挨拶、ゲストである俳優の篠井英介さんの開会宣言で始まりました。今年も夜越はせず、メインの行事は一日目に済ませ、二日目は規模を縮小して開催いたしました。

参加チーム27、参加者720名（内サバイバー180名）、来場者約8000名で、多くの方から「また会えてよかった!」と、喜びのお言葉をいただきました。

啓発プログラムでは、篠井英介さんと実行委員長高橋との対談「がんと私」、実行委員会事務局長松原の講演「サードハンドスモーキング（三次喫煙）の健康影響」、歌手の庄野真代さんとこころサポートクリニック平山貴敏医師の対談「がんと精神的ケア～精神腫瘍科とは～」、日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科部長の勝俣範之教授と患者家計サポート協会代表理事でファイナンシャルプランナー・看護師黒田ちはるさんとの対談「がんとお金～障害年金がもらえるんです、ただし・・～」を行いました。いずれも参加者との活発な質疑討論が行われ、大勢の方が有益な情報を得られたことと思います。

開催日	9月28日、9月29日
開催地	東京上野（上野恩賜公園）
SWR	ー

総参加者数	8,720人
チーム	27チーム
サバイバー	180人
総収入	3,956,135円
実行経費	3,832,864円
寄付総額	123,271円

東京都 文京区

御茶ノ水実行委員会

「継続と変化」

副実行委員長
姜 ヨハネ

RFLJ御茶ノ水は「頑張らないを当たり前に」というスローガンをもとに発足後、今年は8年目の開催となりました。毎年サバイバーとその家族・ケアギバー・学生の方々が肩書きを忘れて、心の交流を行うことができる温かい場所を提供することを理想として、委員会一同頑張ってきました。今年度は開催地である東京科学大の名称変更に加え、新たな変化がありながらも、今まで通り人と人との関わりの大切さを認識できる会になったかと思います。

「継続」できた点としては、立場を超えて参加者間で活発なコミュニケーションが行われたことです。サバイバーの方々の近況のアップデートや、顔見知りのチーム参加者の企業の方々と対面で話し、皆さんの笑顔を見ることができ、実行委員をしていて良かったと心から思うことができました。2日目の朝に去年と変わらず乳がん啓発のための「のの字体操」をしたときは、ホッとしました。「変化」の面では、東京科学大学の小児ケアサークルがレモネードスタンドを出店してくれたこと。また、RFLJえなから実行委員長がきて講演してくださり、地域ごとの違いを感じることができ、勉強になりました。

充実した2日間を晴天のもと皆さんと過ごせたこと、本当に良かったです。来年はより東京科学大学の学生・団体や病棟のサバイバーの方々が参加できればいいな、と夢見ております。よろしくお願いします!

開催日	10月12日～10月13日
開催地	東京科学大学
SWR	10月1日～10月31日

総参加者数	416人
チーム	10チーム
サバイバー	68人
総収入	430,573円
実行経費	3,860円
寄付総額	426,713円

神奈川県 横浜市

横浜実行委員会

2024年。横浜は熱かった!

実行委員長
池田 誠吾

横浜みなとみらいの臨港パークにて12回目のイベントを無事終えることができました。今年は66名のサバイバーが参加してくれました。皆さんが力強く歩かれる姿を見て、我々もたくさん励まされますし、同じ場所でまた来年も一緒に歩きたいという思いが高まり、このイベントをずっと続けていこうという気持ちになります。本当にありがとうございます。

毎年恒例となった1,000枚を超えるルミナリエや、ベイスターズの日本一も重なって、今年は特に横浜が熱かったです!!

皆さんのご協力が、現在、そして未来のサバイバーへの希望(HOPE)に必ずつながります。がんで悲しむ人や悩む人がゼロになる日はきっと訪れます。その日をみんなで盛大にお祝い出来ることを目指して、この活動を続けていきます。来年もたくさんの笑顔であふれるイベントの実現にむけて、実行委員のメンバー全員で準備に取り組んでまいります。

「がん」が「風邪」と同じような扱いになる世の中になりますように…。　大感謝

開催日	10月5日～10月6日
開催地	臨港パーク 芝生広場
SWR	ー

総参加者数	1,356人
チーム	20チーム
サバイバー	66人
総収入	2,054,392円
実行経費	729,392円
寄付総額	1,325,000円

新潟県 新潟市

にいがた実行委員会

10年目を迎えて

実行委員長
石塚 紀明

今年で10回目という節目の開催となったRFLJ 2024にいがた。そして10年目にして初めての雨天での開催となりました。

朝の準備の段階で雨足厳しく、スタートが近づくにつれ雷雨となり「このまま中止になるのでは」と不安もありましたが、開催に係わる全ての方々の思いが伝わり、無事に2日間を乗り切りました。

「がん」という病気は、そこに係わる全ての方々に「自分に対する強さ」と「相手に対する優しさ」の2つを持っていると思います。

故人を思い、偲びながら参加し続ける人。

大切な人(サバイバー)の為に参加し、励ます。

大切な人(ケアギバー)を悲しませたくないから立ち向かう。

この思いが、RFLJにいがたの10年を支えてきたのだと思います。

そしてこれからも多くの方々の力になれるよう歩き続けようと思います。

最後に今年もRFLJ 2024にいがたに関わってくださった全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

開催日	9月15日～9月16日
開催地	新潟県スポーツ公園
SWR	8月17日～9月16日

総参加者数	579人
チーム	15チーム
サバイバー	127人
総収入	2,195,291円
実行経費	1,757,961円
寄付総額	437,330円

福井県 福井市

ふくい実行委員会

「継承すべきこと」と「チャレンジすること」

実行委員長
山本 義孝

今年で14回目となるRFLJふくいは、初めて福井中央公園に会場を移して開催しました。前年までの会場は市街地から離れているため、静かで落ち着いた雰囲気があり、とても良い会場でした。一方で場所が分かりにくかったり、移動手段が車に限られてしまい、公共交通機関で参加したい大学生や高校生の若いボランティア希望者や高齢のサバイバーの方など、興味があっても参加できない方々のために、福井駅周辺の会場を模索し、知名度も高い福井中央公園に決定しました。慣れない会場でしたが実行委員全員で協力し、県や市の支援も受けながら開催することができました。特に市のボランティアセンターには広報の面で多大な協力をいただきました。反対意見もありましたが、初めて参加できた(知った)等の意見もいただき、未来へ向けて良いチャレンジができたと思います。

またメインである交流会やルミナリエセレモニー、恒例になりつつあるSWRや、あったカード、地元の方のステージイベントも盛り上がり、来年以降へしっかり継承していきたいと感じました。

サバイバーさんのためにも、ふくいにRFLをもっと広めてしっかり継承していけるよう、参加者全員で協力しながら来年以降も活動していきたいと思います。

開催日	10月5日
開催地	福井市中央公園
SWR	10月1日～10月31日

総参加者数	500人
チーム	13チーム
サバイバー	30人
総収入	1,150,197円
実行経費	649,642円
寄付総額	500,555円

山梨県 甲府市

甲府実行委員会

「風林火山隠雷」第2章『山』の巻（第9回）－俯瞰する力－

実行委員長
前澤 美代子

第9回となる今年の甲府のイベントは、全国的な台風の猛威のため、1日のみの開催となり、約250名が参加しました。

当日は晴れ間があり、実行委員全員で会場である大学キャンパスの草取りを2時間行い、場を清めることから始まりました。お昼には小雨が降りましたが、開会式前に「HOPE」のルミナリエを背景に大きな三重の虹がかかり、まさに希望を象徴する光景となり、そこにいた全員が自然の力に癒されました。

サバイバーズトークでは3名の方の貴重なお話を伺い、学生や高校生たちにとって「生きること」を考えるきっかけとなりました。鍼灸師会によるマッサージ、アロマサークルの看護学生たちによるハンドマッサージ、POLAによる肌診断やお手入れアドバイス、訪問看護師による手作りのハーブピロー、ヴァンフォーレ甲府やヤクルトなどからグッズを提供していただき、くじ引きなど楽しい催し物で笑顔があふれていました。山梨県赤十字血液センターによる献血の講義は好評でした。急遽キッチンカーの出店が中止になりましたが、学生たちの心のこもったやきそばがとてもおいしかったです。ルミナリエセレモニー、神部冬馬さんの優しい歌声に穏やかな気持ちになりました。夜通しのイベントが22時に終了となり名残惜しい中、みんなで「いつまでも絶えることなく友達でいよう…」と合唱し、閉会式直後に雨が降り出し、ある意味お天気に恵まれました。感謝。

開催日	8月30日
開催地	山梨県立大池田キャンパス
SWR	8月1日～8月31日

総参加者数	250人
チーム	7チーム
サバイバー	70人
総収入	870,222円
実行経費	414,094円
寄付総額	456,128円

長野県 長野市

信州長野実行委員会

ひとりじゃないよ つながる想い 明日に向けて

実行委員長
市川 直明

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024信州長野を10月19日（土）、20日（日）に開催いたしました。今回のテーマは「一人じゃないよ　つながる想い　明日に向けて～いっしょに歩こう　命のリレー～」とさせていただきました。1日目は雨となりましたが、2日間にわたって、サバイバーを中心にしたチームの皆さんと時間を過ごすことができました。

2023年の実行委員長を務めた松坂千鶴さんの命日に合わせたエンプティテーブルでは、幾多の挫折の中で希望を捨てずに、そして自身の体験から多くの方ががんに苦しむことがないよう努力された姿が浮き彫りになりました。松坂さんのがんの再発、治療と並行したRFLの活動と想いを皆でつないでいくために、実行委員や参加者の気持ちが一つになり、貴重な瞬間を共有することができました。松坂さんのつくられたグッズの売り上げもRFLに貢献しました。明日につながるよう誓いを新たにした2日間となりました。

ご尽力してくださった多くの方に感謝を申し上げたいと思います。

開催日	10月19日、10月20日
開催地	長野駅東口公園
SWR	10月7日～11月6日

総参加者数	600人
チーム	15チーム
サバイバー	60人
総収入	1,671,635円
実行経費	1,061,649円
寄付総額	609,986円

長野県 松本市

信州まつもと実行委員会

「5年ぶりのドーム開催」

実行委員長
青木 薫

RFLJ2024信州まつもとは、9月7日（土）に松本市のやまびこドームにてリレーイベントを開催いたしました。コロナ禍の影響で、これまでオンラインや縮小した形での開催を行ってきましたが、5年ぶりにやまびこドームに戻っての開催が実現し、多くの参加者とともに、盛大に行われました。

今年もトーメさんとふくちゃんの司会進行により、医師や歯科医師による講演会が実施されました。また、地元で活躍しているアカペラサークルの皆さまによるライブや、トーメさんとふくちゃん自身によるパフォーマンスもあり、ステージを大いに盛り上げていただきました。参加者には、がんサバイバーやケアギバーをはじめ、実行委員、ボランティア、医療機関の関係者などが多岐にわたっており、それぞれが「自分たちのできることを」という思いを胸に、前日の準備から当日の運営まで全力で会場作りに取り組んでくださいました。イベント中に生まれた一体感や協力の精神が、会場全体に感動的な雰囲気をもたらしました。

今年度は、ドームの広さに圧倒され、マンパワーや準備が不足していたことから、夜通しの開催には至りませんでしたが、今回のドーム開催復活の経験を糧に、次回以降もさらに充実したイベントを目指し、RFLJ信州まつもとのリレーの輪を広げていきたいと考えています。次回も皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしております。

開催日	9月7日
開催地	やまびこドーム
SWR	9月7日～10月21日

総参加者数	300人
チーム	15チーム
サバイバー	20人
総収入	899,021円
実行経費	427,454円
寄付総額	471,567円

岐阜県 岐阜市

岐阜実行委員会

みんなの力を合わせて成し遂げた RFLJ2024岐阜

副実行委員長
古澤 晴美

RFLJ2024岐阜を無事に開催できたことを心よりお礼申し上げます。

今年は特に実行委員の人数が少なく、大変厳しい運営でしたが、ボランティアの皆様や参加者の皆様のご協力を得て、和やかで心温かいイベントになりました。

昨年から引き続き、多くのチームにご参加いただいたことに加え、コロナ禍を経て以前参加されていたチームが復帰してくださったことも、嬉しい出来事でした。

初参加チームとしては、茶道教室、モルック、福祉ネイル、製薬会社とバラエティに富み、昨年度に増して充実した内容のイベントになりました。

エンプティテーブルセレモニーの朗読をする予定の方が急遽来られなくなるハプニングがありましたが、代わりに実行委員の吉田さんが朗読を務めることになりました。練習の時間もない中でぶっつけ本番でしたが、ルミナリエの光の中で、ゆっくりと丁寧に語りかけるような詩の朗読は、参加者の心を一つにして、会場に来られなかった方や先に旅立たれた方へ祈りを捧げる素晴らしい時間となりました。

みんなで力を合わせて成し遂げたRFLJ2024岐阜

皆様への感謝の気持ちと共に、これからも心の中に小さな光を灯し続けて。

ありがとうございました。どんな時も、一人じゃないよ。

開催日	10月6日
開催地	ぎふメディアコスモス
SWR	10月1日～10月31日

総参加者数	316人
チーム	20チーム
サバイバー	42人
総収入	692,354円
実行経費	76,718円
寄付総額	615,636円

岐阜県 恵那市

えな実行委員会

RFLJえな初開催

実行委員長
鷲津 潤爾

岐阜県恵那市で「RFLJ2024えな」が初開催されました。恵那のリレーは市民のがん検診を担う市役所の健幸推進課が中心となって準備を進め、がんを自分ごととらえ、がんとともに生きる地域を創ることを目指し、地域で暮らし、地域で働くみなさんに参加を呼びかけてきました。

全国のがんサバイバーやケアギバー、リレーを応援するみなさんが駆けつけてくださり、心に残るイベントになりました。イベントが終わってから、ケーブルテレビで見たよ、来年はぜひ参加したい、という声をたくさんいただきました。開催から1か月が過ぎ、私たちは来年のリレーイベントの準備を始めています。

参加してくださったみなさん、ありがとうございました。2025年のリレーイベントでの再会を楽しみにしています。

開催日	10月5日
開催地	恵那市役所周辺
SWR	ー

総参加者数	1,000人
チーム	7チーム
サバイバー	50人
総収入	2,137,724円
実行経費	1,512,724円
寄付総額	625,000円

静岡県 静岡市

静岡実行委員会

Return to HOPE ～夜間超えを通して感じたこと～

副実行委員長
杉 聡一郎

前日の雨は嘘のように晴れ、うっすらと雪化粧がかかった富士山を臨みながら、静岡県立大学小鹿キャンパスにて「RFLJ静岡」が開催されました。全国で一番遅いRFLの日程ということで多くの方が駆けつけてくださいました。ご協力、ご参加いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

さて今回のイベントは静岡初の屋内開催ということで、11月でありながら寒すぎない気温の中、ウォーク、セレモニーや各種イベントを行うことができました。印象的だったのはグローバル・ヒーローズ・オブ・ホープの皆様が一堂に会したことです。座談会ではそれぞれの方のお話をお聞きすることができ、その中では「仲間」「居場所」という言葉が共通して出てきたように感じます。個人的にはある方が仰っていた、「サバイバーになった、ではなくサバイバーの仲間入りができた」という言葉が非常に印象に残っています。仲間になったからこそわかること、仲間がいるからこそしたいこと、仲間がいるからこそ頑張れることがあるのだと感じました。また、その方々の出会える居場所を守っていくことの大切さを改めて実感させていただきました。

閉会式後には会場の全員と笑顔のハイタッチで来年の再会を約束し、無事2日間の日程を終えることができました。皆様一人ひとりの笑顔に、勇気、希望をもらうことができました。また静岡の地でお会いしましょう。

開催日	11月16日～11月17日
開催地	静岡県立大学小鹿キャンパス
SWR	11月1日～11月30日

総参加者数	800人
チーム	22チーム
サバイバー	55人
総収入	1,970,895円
実行経費	286,193円
寄付総額	1,684,702円

愛知県 豊川市

東三河実行委員会

“希望 絆 勇気”ずっと大切に

実行委員長
小林 良紀

昨年まで10年間活動を続けたことで東三河にRFLのチャリティー活動が定着しましたが、認知度はまだ十分ではありません。そこで今年は、より多くの地域の方々に知っていただくため、新たに2つの企画を行いました。

1つ目は、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン時のチラシ配布です。イベント約1か月前の8月11日に600枚を配布しました。2つ目は、東三河の行政機関と連携してがん啓発活動をPRする「がん啓発ブース」の開設です。春からスタッフが調整を重ね、3市の自治体の協力を得ることができました。どちらの企画も効果が大きく、認知度向上やがん啓発の普及に手応えを感じました。イベントも天候に恵まれ、無事成功裡に終了。

SWRでは83名が登録参加し、連携できないトラブルで2週間延長したこともあり、修正した結果、目標の2000万歩を達成。24時間のイベントには過去最多の25名のサバイバーが参加し、7名のボランティア支援も得られました。

余談ですが、健康体操なるプログラムがあり、ラジオ体操レベルかと思いきや、昔懐かしいブートキャンプまがいの超ハード体操でした。参加した高齢スタッフは、全身筋肉痛で体力回復に3～4日かかったそうです。来年のプログラムからは排除、いや体を鍛えて再チャレンジだと二分した声が密かに囁かれていました。まぁとにかく来年も老体に鞭打って頑張ります。

開催日	10月5日～10月6日
開催地	豊川市総合体育館前広場
SWR	9月6日～10月20日

総参加者数	470人
チーム	13チーム
サバイバー	25人
総収入	1,491,720円
実行経費	758,555円
寄付総額	733,165円

愛知県 大府市

あいち実行委員会

みんなのRFL

実行委員長
大菅 善章

今回はじめての開催となりましたRFLJあいち。

準備が遅れ遅れになっていましたが、以前より顔見知りの企業・団体やチームのみなさんに助けていただきながらの開催!

当実行委員会は開催日時と会場を決め、みなさんの集える場所をつくることが任務。

実際にご参加いただいたみなさんに、それぞれ事前準備や当日会場で出来ることを模索していただきました。

その中で特に驚いたことは、8か所にもおよぶ実行委員会の仲間たちが来場しての応援でした!関わってくださったみなさん、心より感謝です!!

開催日	6月8日
開催地	あいち健康の森公園
SWR	ー

総参加者数	376人
チーム	13チーム
サバイバー	29人
総収入	759,850円
実行経費	185,904円
寄付総額	573,946円

三重県 松阪市

三重実行委員会

2025年は秋の開催を予定！

実行委員長
大西 幸次

2024年のリレー・フォー・ライフ・ジャパン三重は、例年通り夜越えで開催し、新たに松阪市内の高校に声をかけ、高校生ボランティアを募りましたが、生憎中間テストの期間と重なり、参加が叶いませんでした。

ステージ参加も他のイベントと重なり、参加できないグループがあり、天候も2日目の早朝から雨天となり、ラジオ体操や閉会式前の「よさこい」も中止となって、参加者が少なくなるかな?と心配しましたが、予想したより多くの参加があり、楽しんでいただけたようです。

次回開催時は、高校生ボランティアにぜひ参加してもらえるよう、事前に試験日程等を調査し、開催日を決めたいと思っています。

とにかく、ボランティアやステージ参加は、がんについて知らない人が少しでも参加して貰えるように企画したいと思っています。

最後にRFLJ三重は毎年春に開催していましたが、2025年度は秋（10～11月）に開催しようと計画中です。

開催日	5月18日～5月19日
開催地	松阪市総合運動公園
SWR	5月1日～5月31日

総参加者数	277人
チーム	3チーム
サバイバー	25人
総収入	825,895円
実行経費	262,667円
寄付総額	563,228円

滋賀県 大津市

滋賀医科大学実行委員会

あたたかなカレッジリレーを目指して

実行委員長
丹羽 彩乃

10月12日、13日に滋賀医科大学で、今年も対面で皆さまをお迎えし、リレーイベントを行いました。

日本初のカレッジリレーとして開始した滋賀医科大学でのリレーは今年で9年目を迎えました。学年が変わり新体制となった実行委員会で、各々慣れない役割に悩んだり戸惑ったりすることもありましたが、皆さまのご支援ご協力を賜り、無事に開催することができました。

イベントでは、昨年お越しいただいた方や他地域のリレーイベントでお会いした方、Zoomで行った交流会「かたりば」にご参加くださった方と再会することができたり、新しくお会いした方とお話できたりと、皆さまとの繋がりを実感することができました。皆さまにも、想いを共有する温かな時間を過ごしていただけたら、大変嬉しく思います。

学生のみの運営で至らないところも多々ありました。ですが、「学生だからこそできること」があると信じています。今後もこのカレッジリレーを繋げるよう、努めてまいります。

最後となりますが、温かいご支援ご協力をくださり共にイベントをつくってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。来年もまた滋賀医科大学でお会いできることを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

開催日	10月12日～10月13日
開催地	滋賀医科大学 中庭
SWR	9月13日～10月20日

総参加者数	446人
チーム	29チーム
サバイバー	86人
総収入	1,650,507円
実行経費	682,525円
寄付総額	967,982円

Relay For Life Japan
2024 Report

京都府 京都市

京都実行委員会

2年ぶりのリハビリ開催で「また会えてよかった」

実行委員長
尾崎 智代

昨年は実行委員会の縮小により休会を余儀なくされ、イベント開催を断念しました。その間、募金活動やセルフウォークリレー、RFLJ滋賀医科大学へのチーム参加を通じて、新たな仲間を募りながら運営の立て直しに尽力しました。

今年は新たなメンバーを迎え、少人数ながら京都の地で再びリレーの火を灯せるよう、京都薬科大学グラウンド横の学生会館アリーナを会場にリハビリ開催を実現しました。

当日は大雨の中、不十分な案内にもかかわらず足を運んでくださった方々には深く感謝いたします。「やっとこれた」「再開してくれて嬉しい」とのお声をいただき、実行委員一同、再びリレーの火を灯すことができたことに熱い思いがこみ上げてきました。

今回はリハビリ開催のため夜越えはせず、講演会なども行えませんでしたが、RFLJ京都といえば「かたりば」ではサバイバーやRFLJ滋賀医科大学の学生との語り合いのひとときや京都薬科大学管弦楽部のボランティア演奏が参加者の心を和ませました。また、京都府健康対策課のブースでは、検診案内や「がん患者・家族のための京都府がん情報ガイド」の配布が行われ、啓発活動ができました。手探りのことばかりで反省点も多くありますが、京都府や京都薬科大学をはじめ多くの関係機関、そして参加者の皆様のお力添えにより、京都のリレーイベントを開催できたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

開催日	9月22日
開催地	京都薬科大学アリーナ
SWR	9月22日～10月22日

総参加者数	174人
チーム	8チーム
サバイバー	29人
総収入	419,508円
実行経費	84,042円
寄付総額	335,466円

大阪府 貝塚市

泉州実行委員会

＝新たな場所でチャレンジ＝

最年少実行委員
林 紅葉

10月26日・27日、雨も予想されましたが、ほとんど降らず本当に良かったです。私は学生時代にボランティアで参加し、このイベントのことを知りました。昨年実行委員となり、実行委員としては2回目の参加となりました。今年は会場を「市民の森」から貝塚市の新庁舎前の「緑の市民広場」に場所を移しての開催となりました。駐車場が無料で、交通の便が良くなり、昨年よりとても来場しやすくなったと感じました。また、会場が昨年より小さくなったことで、実行委員会の目が届きやすい規模になりました。今年はサバイバーの方や参加してくださった方々に、1人1人とは言えませんが少し寄り添えた気がしました。「お一人で来られた方を一人にしない」という想いが伝わる場面も多かったと思います。その反面、役所に選挙に来られた方や初めて見る方が、「このイベント何?」と聞く方が多かったように思います。まだまだリレー・フォー・ライフは知られていないんだなと実感しました。毎年定期的に住宅へポスティングするなど、リレー・フォー・ライフを知っていただけるきっかけ作りは必要で、どのように広めていくのかが次の課題となりました。私は自分の挑戦してみたかったことに携われて、とてもうれしいです。まだまだ力足らずですが、これからも頑張っていきたいです。

開催日	10月26日～10月27日
開催地	貝塚市役所 緑の市民広場
SWR	10月1日～10月31日

総参加者数	378人
チーム	22チーム
サバイバー	18人
総収入	809,210円
実行経費	604,815円
寄付総額	204,395円

大阪府 大阪市　大阪あさひ実行委員会

『AYA 世代が語り合う場に！』

広報部長
徳永 京子

「今年、どんなRFLにしたいか?」を実行員会で話し合った時に、「AYA世代のことを発信できるのは、大阪あさひの使命」ということを確認しあいました。

小児がんを体験した実行委員が、AYA企画を担当して、お笑い芸人の「ダンス・ダンス・ダンス」の漫才に続き、進行役をしていただいて、「もし、自分が『がん』になったら?」というテーマで高校生から20代の若い世代が語り合う時間を持ちました。

小児がんを体験した人の話を聞きながら、もしもがんになった時に、「何が不安か?」「どんなサポートが必要か?」そして「自分はどう生きたいか?」など、思いを共有する場になりました。

また、今年のグローバル・ヒーローズ・オブ・ホープに選ばれたAYA世代の徳永雄哉くんの講演『脳腫瘍という教科書』は、病気を教科書にたとえ、そこから学びとったことをわかりやすく高校生たちに伝えていました。講演後は質問や意見が飛び交うなど、貴重なひとときを共有できたと思います。

『がん』は40歳代以降に発症する人が圧倒的に多いですが、大阪あさひがAYA世代について発信していくことで、若い世代にも『がんに向きあう生き方』を考えていただけるきっかけになったと思います。

開催日	10月13日～10月14日
開催地	大阪市立旭区民センター
SWR	ー

総参加者数	600人
チーム	25チーム
サバイバー	60人
総収入	611,006円
実行経費	85,006円
寄付総額	526,000円

兵庫県 芦屋市　関西（芦屋）実行委員会

こどもたちが大人になるころには「がん」を治せる未来を目指して！

実行委員長
城村“KUMA”勉

この場所で　私は、歩きはじめた。
この場所で　私は、あなたと再会する。
この場所は、いつもあなたとともにある。

「こどもたちが大人になるころには、かぜ薬で風邪が簡単に治るように『がん』を治せる未来を目指して!」今年もRFL芦屋は多くの皆さんのご参加、ご支援・ご協力のもと、年間を通して活動をすることができました。携わっていただいたすべての皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

2025年は9月6日～7日開催予定です。まだ見ぬあなたとの新たな出会いがあることを、実行委員一同楽しみにしています。

開催日	9月7日～9月8日
開催地	シンコースポーツグラウンド（芦屋市立川西運動場）他
SWR	ー

総参加者数	1,800人
チーム	25チーム
サバイバー	180人
総収入	3,324,912円
実行経費	2,824,912円
寄付総額	500,000円

兵庫県 神戸市　神戸実行委員会

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024神戸を終えて

事務局長
大山 真弓

今年も多くの方にご協力いただき、RFLJ神戸の集大成となる夜越えイベントが終わりました。今回も「神戸震災復興記念公園」である「みなとのもり公園」で開催され、東遊園地の「希望の灯り」からルミナリエに分灯しました。「リメンバー」=亡くなった方を偲ぶという私たちのテーマになくてはならない灯りです。「キャンドルライトセレモニー」「エンプティテーブル」「かたらナイト」…夜は更け、一晩中走り、歩き、演奏し、語り合う私たちを見守りながら、翌朝までルミナリエは灯り続けました。サバイバー、ケアキバー、リレーウォーク・キャンドルラン参加者、ミュージックバトン出演者、ブース出店者、ボランティア、協賛いただいた団体のみなさま、各地の実行委員のみなさま…このたびご協力いただいた全ての皆さまに、心より御礼申し上げます。

私たちの活動は、「チャリティー寄席」、「ミュージックバトン・スピンオフライブ」、「講演会」と、年間を通じて続きます。そして、来年のイベントをさらに盛り上げられるよう準備を進めています。

2025年6月14日（土）～15日（日）、みなとのもり公園でお会いしましょう!

開催日	6月8日～6月9日
開催地	みなとのもり公園
SWR	6月8日～7月7日

総参加者数	900人
チーム	30チーム
サバイバー	80人
総収入	2,106,239円
実行経費	1,706,539円
寄付総額	399,700円

和歌山県 和歌山市　わかやま実行委員会

真夏のリレー・フォー・ライフ

実行委員長
冨士 希

いつもRFLJわかやまをご支援いただきありがとうございます。2024年のわかやまは初の7月開催で、真夏の猛暑の中でのRFLを開催させていただきました。

十分な暑さ対策と、ご参加いただいたみなさまのご理解や、RFLJわかやまをいつも支えてくださるみなさまのおかげで、厳しい環境の中でしたが、事故や怪我もなく、無事に25時間開催を達成できました。

会いたい人に会える　会えない人を思い偲ぶ
誰かを思い歩く　誰かを思い走る
誰かと話せる　誰かと繋がれる
そして、一人じゃないと思える

わかやま実行委員会はこれからもこの思いをつなげ、24時間走り続ける意味を体現し続けます。来年も和歌山城でお会いしましょう!

開催日	7月6日～7月7日
開催地	和歌山城公園砂の丸広場
SWR	ー

総参加者数	978人
チーム	18チーム
サバイバー	22人
総収入	1,430,602円
実行経費	876,083円
寄付総額	554,519円

広島県 尾道市

広島実行委員会

RFLJ2024広島 無事盛会に終了!!

実行委員長
浜中 和子

RFLJ2024広島を無事に盛会に終了でき、安堵と感謝の気持ちに浸っています。

今年も、24時間のリレーウォークがない変則的開催でしたが、昨年より沢山の方が会場に来てくださいました。会場ではピアサポートについて、小児がんの少女の思い、抗がん剤、東洋医学の情報の講演を聞きました。健康長寿のための運動の必要性・笑いヨガも体験しました。

今年も沢山の方に歌や演奏を聞かせていただき、子供さん達の元気で素敵なダンスも見せていただき、心が癒されました。ルミナリエステージとがん患者の思いを伝えるステージで、がん経験者や家族の方のお話を聞き、がんになっても、前向きに生きる、あきらめない、仲間と支えあって生きる、がん検診を受け、早期発見、適切な治療を受け、がんで命をなくす方がひとりでも減るようにというメッセージを受け取りました。今年も沢山のブース参加があり、各ブースがとてもにぎわって充実していました。夜は、福祉センターのホールにRFLのシンボルのHOPE(希望)のルミナリエが灯され、私達の心にHOPEがいつまでも輝いていてほしいと願いました。毎年一緒にRFLJ広島の実施に多大な尽力をしてくれた実行委員の皆さん、一生懸命任務を遂行してくださって本当にありがとうございました。

最後にRFLJ2024広島開催にご協力いただいた全ての皆様に、改めて心よりお礼申し上げます。

開催日	9月22日、9月23日
開催地	尾道市総合福祉センター
SWR	ー

総参加者数	400人
チーム	18チーム
サバイバー	34人
総収入	1,605,726円
実行経費	888,621円
寄付総額	717,105円

山口県 山口市

やまぐち実行委員会

みんなつながっちょる

実行委員会事務局
大島 愛子

今年9回目となるRFLJやまぐちは、昨年に続き室内で1日開催となりました。短時間でしたが開催でき、無事に終えることができました。ご支援ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

山口ではこれまで台風の影響で中止や短縮開催になっていたので、いつも台風の心配をしていましたが、室内開催ということで天気の心配がなく、 できたことを嬉しく思っています。

今年はウォークの距離を伸ばしたこともあり、たくさんのルミナリエが並べられました。今年も1周歩くごとに模造紙にシールを貼り、参加者全員でHOPEを描きました。色々な絵柄のシールで、ウォークの方々が思考を凝らして、とても素敵なHOPEが出来上がりました。

また大学生ボランティアの方が、がんについて正しい知識をもってもらおうとクイズを考えてブース出展していただきました。

それから実行委員が参加者に寄り添い、話しかけて一緒に歩いたり、楽しんでいる様子を見て、とても温かい気持ちになりました。参加者も実行委員も楽しめる、温かいリレーをこれからも続けていきたいと思います。

開催日	10月5日
開催地	山口県総合保健会館
SWR	ー

総参加者数	108人
チーム	9チーム
サバイバー	21人
総収入	399,312円
実行経費	234,607円
寄付総額	164,705円

徳島県 徳島市

とくしま実行委員会

つながりながら、語り合いながら

実行委員長
香留 美菜

秋から春へと開催時期を変更し、屋外から屋内への開催も今回で2回目を迎えました。規模は大きくありませんが、その分、お互いの距離をより近くに感じながら過ごせる時間になりました。ご支援、ご参加いただいた皆さまに、あらためて感謝申し上げます。また当日会場へ来られなかった方々からもお心を寄せていただき、大きな支えとなりました。本当にありがとうございました。

RFLJとくしまでは、これまでもプログラムを講演会形式ではなく座談会形式にするなど、誰もが参加しやすく、“がん”について気軽に語り合える場所となるよう心がけてきました。今年はRFLに初めて参加する学生を対象に「“がん”のイメージ」についてアンケートを実施し、当日はその結果をもとに医療者の協力を得ながら会場の皆さんと会話を重ねていきました。そして、サバイバー、ケアギバー、学生ボランティアの皆さん、医療者の方々、そしてご支援いただいた企業の皆さんと、それぞれの立場や年代を超え、“がん”を取り巻く日々や環境についてともに考えました。

このRFLJとくしまをきっかけに社会全体で“がん”に向き合える優しい場所が拡がっていくことを願いながら、また来年お会いできることを心待ちにしています!

開催日	6月1日
開催地	徳島市ふれあい健康館
SWR	ー

総参加者数	300人
チーム	12チーム
サバイバー	22人
総収入	440,644円
実行経費	230,624円
寄付総額	210,020円

香川県 高松市

かがわ高松実行委員会

笑顔と感謝の2日間

実行委員
札野 栄美子

2024年9月28日から29日にかけて開催された「RFLJ 2024かがわ高松」では、2日間で437人の方々にご参加いただきました。たくさんの笑顔に包まれ、無事にすべてのプログラムを終えることができました。

今年はスプレーアート、ナイトヨガ、モルック、バンド演奏、歌やオペラ、ダンス、よさこいなど、多彩なイベントで会場を盛り上げていただきました。特にサバイバーの皆さんの笑顔に再び出会えたことは、開催の喜びとともに、RFLの意義への思いを改めて感じる機会となりました。ルミナリエ点灯の際にはあいにくの雨模様でしたが、その後は晴天に恵まれ、終了まで笑顔が絶えることなく無事にゴールを迎えることができました。これもひとえにご協力いただいたすべての皆様のおかげです。サバイバーの方々、ケアギバーの方々、そして関係者や参加者の皆様が一丸となり、心温まる素晴らしいイベントとなったと感じております。2025年に向けて、さらに新たな気持ちで準備を進めていきたいと思います。

最後になりましたが、イベントのご協力、ご参加、ご支援をいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

開催日	9月28日～9月29日
開催地	サンポート高松
SWR	8月31日～9月29日

総参加者数	437人
チーム	11チーム
サバイバー	43人
総収入	1,378,652円
実行経費	396,073円
寄付総額	982,579円

高知県 高知市

高知実行委員会

再びこの地へ

副実行委員長
川村 勇生

17回目となる高知県では、昨年に引き続き高知県立春野総合運動公園にて24時間開催で行い、参加者の笑顔あふれる中で盛況のうちに無事終えることが出来ました。参加者の皆様、2日間に渡りお疲れ様でした。また、ご支援・ご賛同頂きました各企業、団体の皆様、個人の皆様に、心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

今年の参加は18チームと合わせて総勢約750名の方々に参加いただきました。昨年に引き続きSWRも多くの方々にご参加いただいた他、ルミナリエバッグについてもたくさんの賛同を頂き、色とりどりで描かれたイラストや心温まる文言に、楽しみながら歩くことができました。また今までのブース出店者やキッチンカーの出店、管弦楽、吹奏楽の演奏、和太鼓演奏、ライヴコンサート等があり参加者も楽しんで参加することができました。RFLの活動はもちろんメインイベントである24時間リレーにあたっては、参加者同士で語り合いながら、「祝う、しのぶ、立ち向かう」の3つのテーマを元にタスキを繋ぎ、24時間歩き続けました。またルミナリエセレモニーでは、足を止め、故人をしのび、想いをはせてイベントに参加していました。実行委員会では例年通りほぼ一年かけ準備し、若干の課題はあるものの良いイベントとなったように思います。18回目となる来年も引き続き開催していきたいと思います。

開催日	10月5日～10月6日
開催地	県立春野総合運動公園
SWR	10月1日～10月31日

総参加者数	750人
チーム	18チーム
サバイバー	22人
総収入	2,012,451円
実行経費	1,364,451円
寄付総額	648,000円

福岡県 福岡市

福岡実行委員会

～絆～

実行委員長
簑原 正己

RFLJ福岡も今回で第16回目を迎え無事終了いたしました。福岡県、福岡市、福岡県医師会、多くの企業、参加者の皆様、また会場を提供していただいた福岡女子大学へ深く感謝申し上げます。

今年のスローガンは[～絆～☆あなたによりそう家族と仲間たち☆]

一人一人、お互いに支えあい歩み続けます。いつも寄り添ってくれている家族や仲間たちとの絆、そんな温かく心強い絆を感じることができる場所。それがRFLだと私は思っております。新型コロナ以降まだイベントは1日限りの開催ですが、とても充実したイベントになりました。

今年も福岡県知事、福岡市長は開会式からウォークまで参加されました。ステージでは県立香住丘高校のブラスバンド、県立宇美商業高校の太鼓演奏から始まり、バルーンパフォーマンス、ものまねショー、九州医療センターの高見先生の講演、恒例のオークション、サバイバーズトークと盛りだくさんでした。

また今回は、現役の医師音楽ユニットのインスハートさんに今年のエンプティテーブルのテーマソングを会場で披露していただきとても感動的でした。

今年も皆様のおかげで「命のたすきリレー」を繋げることができました。来年も多くの方々にご参加をいただき、「がん」で苦しむ人や悲しむ人がなくなる社会になるよう実行委員一同願っております。

開催日	10月6日
開催地	福岡女子大学
SWR	ー

総参加者数	517人
チーム	23チーム
サバイバー	37人
総収入	883,418円
実行経費	189,910円
寄付総額	693,508円

Relay For Life Japan
2024 Report

佐賀県 佐賀市

佐賀実行委員会

2015年から第10回目となるRFLJ2024佐賀

事務局長
木下 博和

木原実行委員長の今年の方針として「コロナ禍以前のスタイルに戻そう」という提案に全ての実行委員が賛同し、5年ぶりとなる夜越えでの2日間の開催となりました。

当日は、青空の下での開会式、サバイバーズラップから始まり、青空講座、サバイバーズトークと続きました。また、10周年記念として、第1回に実施したミュージックバトン（音楽でつなぐリレー）を復活し、多くのアーティストの皆さんにもチャリティに参加していただきました。サバイバーの皆さんも一緒に演奏を楽しんでおられ、「サバイバーであることを自らカミングアウトして和やかに交流できるのもこのイベントでの醍醐味ですね。」と、嬉しいお言葉をいただきました。2日間夜通しでの今年のリレーは、関係団体との調整、ボランティアの募集など、今年ならではの大変さはありましたが、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。一般の参加者数、サバイバーの参加者数、募金寄附の金額もコロナ禍以前と変わらない盛り上がりが実現できたと思います。

これも関係各所及び参加団体の皆様のご協力の賜物と考えており、厚く御礼申し上げます。そして、実行委員の皆様による「でくっしこ（出来る範囲で）」のご協力で、佐賀のリレーが継続できています。来年もまた、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025佐賀でお会いできることを楽しみにしております。

開催日	9月28日～9月29日
開催地	どんどんどんの森
SWR	ー

総参加者数	700人
チーム	30チーム
サバイバー	161人
総収入	2,043,033円
実行経費	1,391,295円
寄付総額	651,738円

長崎県 佐世保市

佐世保実行委員会

第3回 RFLJ佐世保を終えて

実行委員長
吉村 市代

「長崎県でもRFLを～」と第1回を開催してから約2年半が過ぎました。試行錯誤の中、第3回となるRFLJ佐世保は2日間とも晴天に恵まれ無事終了しました。ご参加・ご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

今年の目標は多くのサバイバーに参加してもらうことでした。当地において認知度が低いRFLをどうやって知ってもらうかは大きな課題です。SNSも活用しますが万人には伝わりません。明確な答えにたどり着かないままチーム数を増やすことに取り組み、前年比+22の53チームにご参加頂きました。チームの中にはサバイバーがいる可能性もあるので、仲間にRFLのことを伝えてくれる期待もできます。結果としては、思ったほどの登録数には至りませんでしたが、今後も新規チーム獲得に尽力していきます。

そして新たに活用したのがGoogleフォームです。過去参加したチームには案内状を郵送する前に、今年も参加の意思があるか?担当者やアドレスの変更はないか?など、メール（LINE）でフォーム送信。チーム参加申込みやボランティア登録などもフォームで回答してもらいました。重複する作業やミスを削減するとともに、来期に必要な情報を一括管理し共有を容易にしました。

今後も一部の実行委員に負担がかからないよう工夫しながら、「私も入れて下さい」と声がかかるような楽しい実行委員会運営を目指していきます。

開催日	9月28日、9月29日
開催地	佐世保市島瀬公園
SWR	ー

総参加者数	621人
チーム	53チーム
サバイバー	49人
総収入	2,619,158円
実行経費	1,385,234円
寄付総額	1,233,924円

熊本県 熊本市　くまもと実行委員会

笑顔に支えられて ～心ひとつ絆つむいで～

実行委員長
山本 宏子

第14回目を迎えた熊本のリレー。

コロナ禍前より3時間短縮しての開催でしたが初日の快晴もあり、コロナ前と変わらないほどの方々の参加を頂きました。

開催を心待ちにしている方々がたくさんいる事、それでも「この場に集うことが出来なかった方々の生きてきた存在を私たちは忘れない。」という思いを強くしたリレーでした。

ご協賛を頂いた企業・個人の皆様、開催にあたり尽力を頂いた皆様、ボランティア・実行委員会の仲間たち、それに忘れてはいけない現在治療中にも拘わらず会場に足を運んで頂いたサバイバーの方々、沢山の笑顔を有難うございました。

支えて下さる皆様のお陰で、沢山の笑顔に会えたことを感謝申し上げます。

来年も新緑の楠若葉の白川公園でお会いしましょう。

そして一面に広がる中から、一緒に四つ葉のクローバーを探しましょう!

開催日	5月11日～5月12日
開催地	白川公園
SWR	ー

総参加者数	950人
チーム	39チーム
サバイバー	82人
総収入	1,575,371円
実行経費	1,173,728円
寄付総額	401,643円

大分県 大分市　大分実行委員会

雲外に蒼天あり

実行委員長
大坪 美奈子

9月22日、大分スポーツ公園大芝生広場では朝からの激しい雷雨で受付等の準備が整わず、大分大会の1日目は開会式を2時間繰り下げての開始となりました。雷は去ったものの断続的に雨の続く1日となりましたが、サバイバーズラップの間は雨が止み、笑顔でスタートを切ることができました。

少人数の実行委員会ですが、受付やルミナリエ設置・撤去等、チーム参加の方を中心としたご参加の皆さまが快くご協力くださり、3,528人で作る温かい夜越え大会となりました。

2日目は美しい夜明けの紫で始まり、快晴の閉会式を迎えることができました。眩しい青空を、絶望的なドシャ降りの中ではイメージすることも難しいのですが、多くの参加者の願いによって実現した事に、がん征圧の実現が重なるようでした。

医療に携わる方々の「患者さんの命を救いたい」という強い気持ち、がんで大切な人を失った方々の深い悲しみや悔しい気持ち、そして「来年も生きていたい」「大切な人を悲しませたくない」という患者さん達の切実な思いを軸に、がん治療は大きく進歩してきました。「がんで命を落とすことや苦しむことが珍しい世の中」を大勢の人が強くイメージすれば、いずれ実現するのではないでしょうか。

克服中のサバイバーさんから「今日の参加を楽しみに1年頑張れた」との有難いお声を会場で頂き、実行委員会もまたそのお言葉を支えに来年も頑張れそうです。

開催日	9月22日～9月23日
開催地	大分スポーツ公園大芝生広場
SWR	9月14日～10月21日

総参加者数	3,528人
チーム	35チーム
サバイバー	63人
総収入	3,460,481円
実行経費	1,181,842円
寄付総額	2,278,639円

大分県 中津市　中津実行委員会

第3回大会も無事終了

実行委員長
福山 康朗

2024/10/26～10/27に、今年も夜越えのRFLを無事開催できました。

中津市の2大イベント「三光コスモス園」「から揚げフェスティバル」に総選挙が重なり、テントがない、人手がないという悪条件の中の開催となりました。借りる予定のテントがイベントへ、あてにしていた人員が総選挙の手伝いへ駆り出され、どうなる事かと思いましたが、近隣の小学校、看護学校やボランティアの方々の力を借りて、いつもと変わりない手作り感満載の「中津のリレー」となりました。

毎年恒例のように準備段階で降っていた雨は開会式には上がり、その後もほぼ降ることはなく大会は進行していきました。今年のステージは、子供神楽に加え、地元のバンドとサバイバーさんによるコーラスが加わりました。たくさんのルミナリエは、エンプティテーブルと共にとてもきれいでウォーキングの足元を明るく照らしてくれました。ドーンパープルを見ることはできませんでしたが、閉会式のころには晴れ間も出て、すがすがしい秋晴れとなりました。

総参加人数は756人、寄付総額は初めて100万円を超えました。ご協力いただいたすべての方に感謝して、また、来年への準備を始めたいと思います。

開催日	10月26日～10月27日
開催地	三光総合運動公園
SWR	10月12日～11月11日

総参加者数	756人
チーム	10チーム
サバイバー	20人
総収入	1,066,244円
実行経費	128,244円
寄付総額	938,000円

沖縄県 那覇市　おきなわ実行委員会

皆様の温かいご支援に心から感謝を込めて

副実行委員長
山代 寛

今年、沖縄での開催10周年を迎えたRFL。初めて沖縄大学をメイン会場とし、地域共創・未来共創の大学としての取り組みの一環として、会場費を大幅に削減し、より多くの方々に寄付を届けることができました。

本大会では、沖縄の文化であるラジオを活用し、がんと向き合う方々の生の声を地域社会へ発信。従来のイベントの枠を超え、がんに対する理解と共感を深める新たなコミュニケーションの場を創出しました。

実行委員会には、サバイバー、ケアギバー、医療関係者など、多様なバックグラウンドを持つメンバーが集結。大学生や高校生もボランティアとして参加し、がん教育の機会を広げました。

セルフウォークリレーでは、目標の1800万歩を達成。皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

沖縄県内では年間約9000人ががんと診断されています。私たちが目指すのは、がんと診断されても、本人や家族が安心して暮らせる社会の実現です。RFLは、その理想を追求する活動です。

会場にお越しいただいた皆様、ご支援いただいた全ての方に心より感謝申し上げます。がんと共に生きる、いのちの尊厳を大切にする社会の実現に向けて、今後もご支援をお願いいたします。

開催日	11月9日～11月10日
開催地	沖縄大学アネックス共創館
SWR	10月11日～11月10日

総参加者数	506人
チーム	5チーム
サバイバー	70人
総収入	1,020,683円
実行経費	766,324円
寄付総額	254,359円

2024 特別協賛

総合教育・生涯学習機関 ECC

小野薬品工業株式会社

高める、つくる、そして、支える。 熊谷組

Gold Anchor™

JCR Pharmaceuticals

あなたの未来を強くする 住友生命

ソニー生命

Daiichi-Sankyo

大樹生命 日本生命グループ

武田薬品工業株式会社

中外製薬 ロシュ グループ

POLA

MUFG 三菱UFJ銀行

明治安田

明治安田総合研究所

※五十音順

がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい

公益財団法人 日本対がん協会

日本対がん協会公式HP
https://www.jcancer.jp

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 公式HP
https://relayforlife.jp

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 公式Facebook
https://www.facebook.com/RelayForLife.Japan

2025_02_4000